

2017. 1. 17

一月例会

日時 平成二十九年一月十七日(火)

テーマ わが国の国際競争力について

講師 帝京大学経済学部教授

松本和幸氏



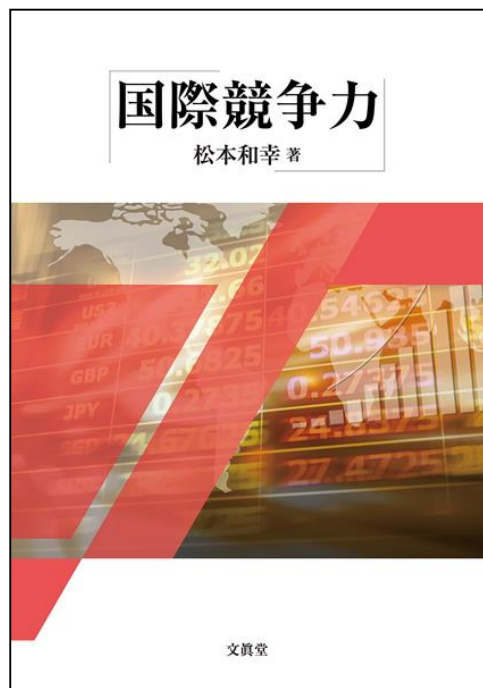
帝京大学校舎
<http://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/school/3277/gakubu/gakubudt/18.html#anq01>

■ 略 歴

京都大学数理工学科入学。サンケイ・スカラシップでアメリカ留学。京都大学数理工学科卒、同経済学部卒。経済学博士 (1990年京都大学)。1974年日本開発銀行入行 (現、日本政策投資銀行)。中国支店副支店長、設備投資研究所副所長を経て、2003年立教大学大学院教授。

この間、早稲田大学大学院経済学研究科、ブルッキングズ研究所客員研究員、豊橋技術科学大学非常勤講師、財務省財務総合政策研究所特別研究官、メリーランド大学客員教授、一橋大学経済研究所非常勤研究員を歴任。2014年より現職。

松本和幸氏



国際競争力,文眞堂 (2016/7/28)



経済成長と国際収支—日本政策投資銀行設備投資研究所経済フォーラム(第2号)),日本評論社 (2003/09)

二月例会

日時 平成二十九年二月二十八日(火)

テーマ 新しい時代のMOT・社会革新とイノベーション精神

講師 東京工業大学環境・社会理工学院

イノベーション科学系教授

田辺孝二氏

田辺孝二氏

■ 略 歴

1975年京都大学理学部卒、2003年東京工業大学社会理工学研究科博士後期課程修了、1975年より通商産業省においてイノベーション政策、経済分析、産学官連携による地域発展、アジアIT協力などに従事。2004年に島根県民ファンドを創設し、10年間運営。

2005年4月より東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授となりMOT教育・研究に従事、2016年4月より現職。早稲田大学「シンガポール・アジアのITと社会革新」講義非常勤講師、日本アジアグループ(株)取締役、ビジネスモデル学会理事などを兼務。



東工大・田辺研究室「他人実現」の発想から、彩流社 (2010/5/20)



Asia MOT Alliance Meeting 2016 at KAIST

三月例会

日時 平成二十九年三月二十三日(木)

テーマ システム論における「信頼」概念の特徴
・ルーマンによる機能分析から

講師 東京大学大学院教育学研究科博士課程

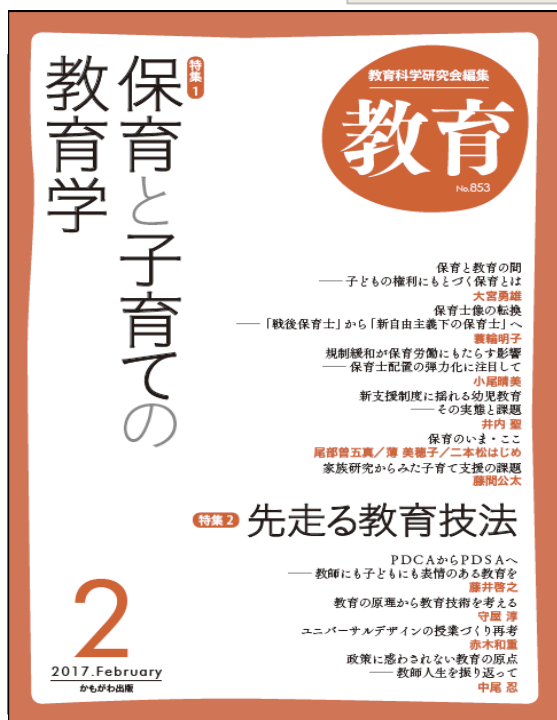
横井 夏子 氏

■ 略 歴

中央大学法学部在学中に、ルーマンの著作と出会う。東京大学大学院教育学研究科に進学後、ルーマンを手がかりに信頼／不信の機能分析を研究。2013年修士(教育学)取得。民間教育研究団体による教育実践記録から、教育理論と実践との往還の必要性を痛感する。現在、法政大学ほかで非常勤講師、教育科学学会で月刊誌『教育』編集委員等を務めつつ、博士論文を執筆中。

ニクラス・ルーマンのシステム論は、複雑性を縮減する多様なメカニズムを記述することによって、社会構造を説明している。そのなかでも、近代以降、複雑に機能分化した社会において、「信頼」はシステム成立の前提条件といえる重要な概念である。本報告では、「信頼」に備わった①過去の情報を過剰利用し、将来についての判断を下す、②行為選択にリスク認識を伴う、という二つの特徴を確認する。

横井 夏子 氏



教育科学学会編『教育』
2017年2月号(かもがわ出版)



櫻井敬三氏

■ 略歴

1972年東京理科大学工部機械卒業後、株式会社荏原製作所、横河電機株式会社、ローム株式会社、東京工業大学に勤務。2010年金沢星稜大学経済学部教授を務め、2012年より日本経済大学経営学部大学院経営研究科教授及び同大学院価値創造型企業支援研究所所長を兼任。

2007年横浜国立大学環境情報学府マネジメント専攻にて博士

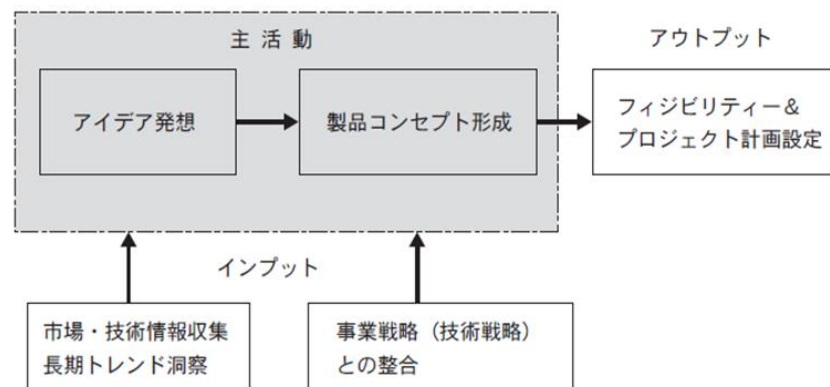
後期課程修了(博士(技術経営))。

研究分野は、技術経営, 設計工学, 創造工学, 技術・生産管理, 研究開発組織。

<著書概要>

真に革新的な製品・サービスの多くはマーケットインや最先端技術獲得からは生み出されていない。高確率で業績に連動する技術革新製品やサービスを創成するには、**アイデア発想→コンセプト形成→フィジビリティースタディと活動計画策定が重要である**。創造的チーム活動と創造的研究技術者を生み出す決め手、ファジーフロントエンド(開発前)活動を事例と実証データから解説する。

■ ファジーフロントエンド(開発前)活動とは



出所: カハラナら (Khurana, A. et al. (1998)) をもとに筆者作成。

ファジーフロントエンド活動による

技術革新創成

100社の事例を実証データで検証

櫻井 敬三
[著]

文眞堂

五月例会

日時 平成二十九年五月十七日(水)

テーマ イノベーション・スピナウトに功罪両面

講師 一橋大学イノベーション研究センター 教授

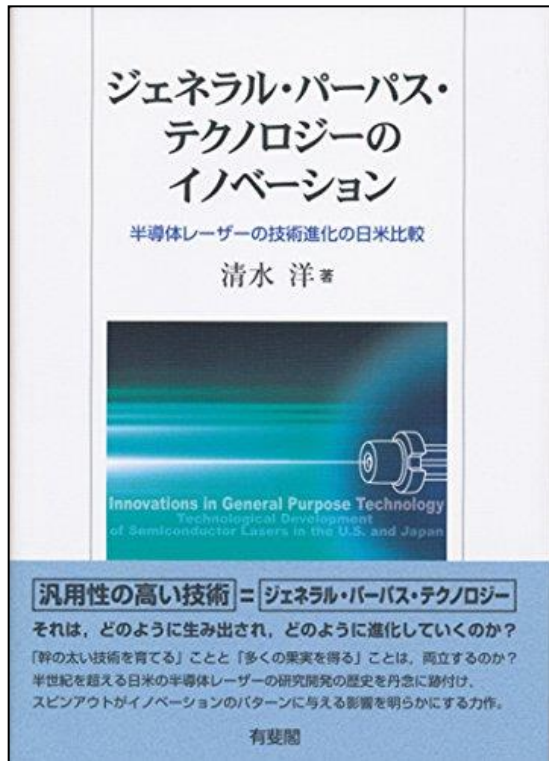
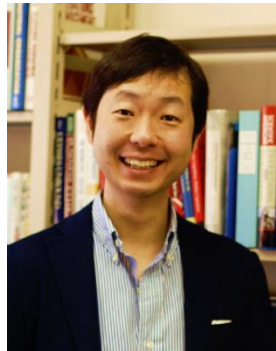
清水洋氏

清水洋氏

■ 略 歴

1997年中央大学商学部卒業、1999年一橋大学大学院商学研究科修士課程修了、2002年ノースウエスタン大学歴史学研究科修士課程修了。2007年、ロンドン大学ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンスよりPh.D.(経済史)。アイントホーヘン工科大学ポスドク・フェロー、一橋大学大学院イノベーション研究セン

ター専任講師、准教授を経て2017年4月より現職。著書『ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション: 半導体レーザーの技術進化の日米比較』において第59回日経・経済図書文化賞を受賞。



ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション - 半導体レーザーの技術進化の日米比較, 有斐閣 (2016/3/31)



イノベーションに何が必要か(下)スピナウトに功罪両面 2016/12/30付日本経済新聞 朝刊

2017. 6. 6

六月例会

日時 平成二十九年六月六日(火)

テーマ 国際標準の考え方・グローバル時代への新しい指針

講師 日本規格協会顧問 元ISO会長

田中正躬氏

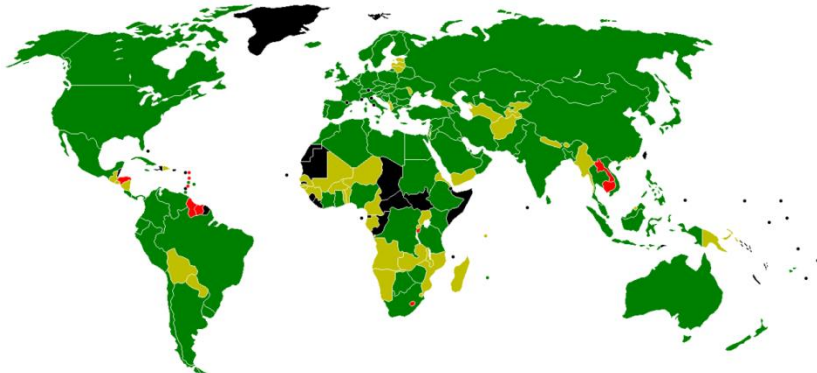
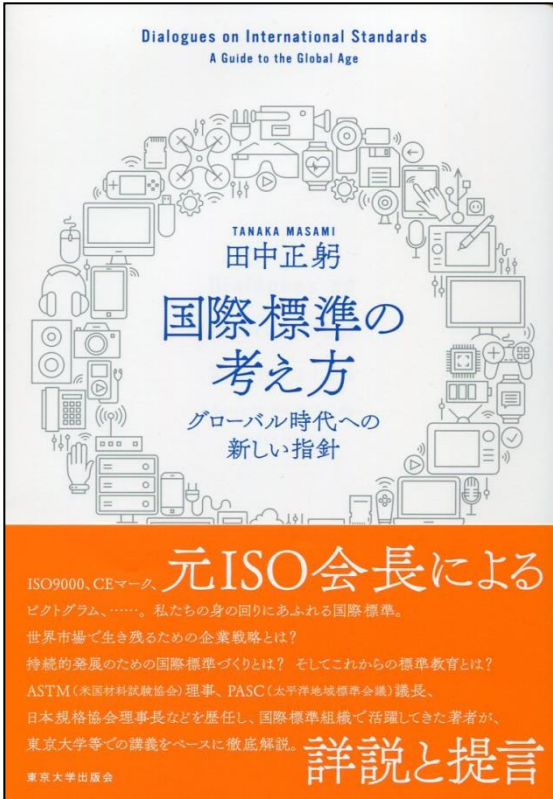


田中正躬氏 ■ 略歴

1968年京都大学大学院工業化学科修士課程を修了し、通商産業省に入省。多くの分野で通商産業政策の業務に従事。その後日本化学工業協会副会長、日本規格協会理事長などを経て現在は日本規格協会顧問。

この間、太平洋地域標準会議の議長を務めるほか、

ISO(International Organization for Standardization)会長、米国の標準機関ASTM(American Society for Testing and Materials)理事を歴任。



ISO会員国の地図

資料: Wikipedia

国際標準の考え方: グローバル時代への新しい指針, 東京大学出版会 (2017/3/18)

2017. 7. 19

7月例会

日時 平成二十九年七月十九日(水)

テーマ 企業統治と成長戦略

・企業パフォーマンスは向上するのか？

講師 早稲田大学 商学学術院 教授

宮島英昭 氏



宮島英昭氏

■ 略 歴

1978年立教大学経済学部卒業。1985年東京大学大学院経済学研究科単位取得修了。東京大学社会科学研究所助手、ハーバード大学客員研究員等を経て現職。

早稲田大学高等研究所所長、経済産業研究所ファカルティフェローを併任。早稲田大学博士(商学)。

企業統治 と 成長戦略

宮島英昭
[編著]



企業パフォーマンスは 向上するのか？

第一線の研究者が示す、
コーポレート・ガバナンスの最前線

東洋経済新報社



8月例会

日時 平成二十九年八月二十三日(水)

テーマ イノベーションと著作権法

・知られざるフェアユース規定の魔力

講師 国際大学グローバル・コミュニケーションセンター客員教授

米国弁護士(ニューヨーク州、首都ワシントン)

きんこう いわお

城所岩生氏

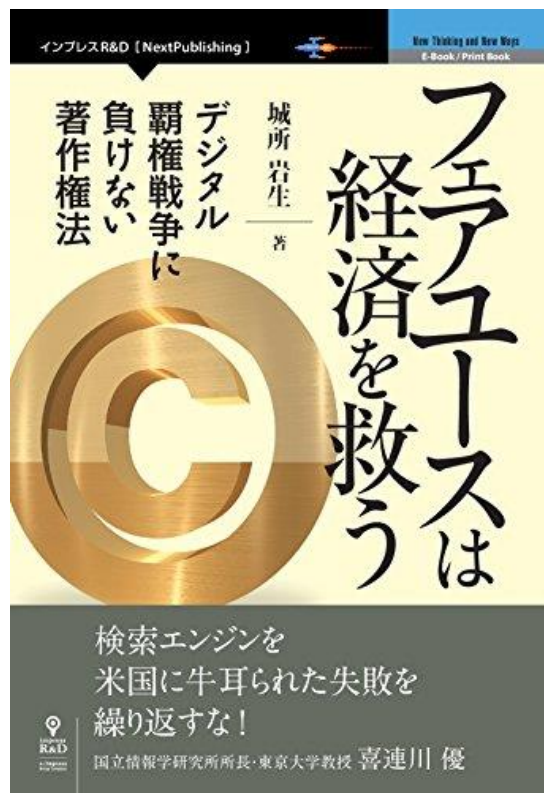


城所岩生氏

■ 略 歴

1965年東京大学法学部卒、ニューヨーク大学修士号取得(経営学・法学)。NTTアメリカ上席副社長、成蹊大学法学部教授を経て、2009年より国際大学グローバル・コミュニケーションセンター(GLOCOM)客員教授。2016までは成蹊大学法科大学院非常勤講師も兼務。2015年5月~7月、

サンタクララ大ロースクール客員研究員。著作権法に精通した国際IT弁護士として活躍。



| 第1章 イノベーションを育むフェアユース | |
|----------------------|------------------------|
| 1・1 | 世界最下位の日本の起業率 15 |
| 1・2 | フェアユース規定とは 17 |
| 1・3 | 技術としては日米同時に誕生した検索エンジン |
| 1・4 | 韓国もオプトアウトで対応 21 |
| 1・5 | 最高裁判決が足かせになった日本 23 |
| 1・6 | グローバル化するフェアユース 26 |
| 1・7 | イノベーションを阻む日本の最高裁 28 |
| 1・8 | ネット時代に対応できない最高裁 31 |
| 1・9 | 「10年に一度の傑作」を葬り去った検察 34 |
| 1・10 | 億万長者になった欧米版ウィニーの開発者 37 |
| 1・11 | ナップスターの開発者も億万長者に 38 |
| 1・12 | 刑事訴追には慎重な米国 42 |

2017. 9. 13

9月例会

日時 平成二十九年九月十三日(水)

テーマ **フィンランドソフトウェア会社の日本進出**

・その機会と挑戦

Finnish software firms in Japan: Opportunities and challenges

講師 **フィンランド・ユヴァスキュラ大学情報技術学部**

ソフトウェアビジネス学科講師

アルト オジャラ 氏

■ 略 歴 - biography

フィンランド・ユヴァスキュラ大学情報技術学部 ソフトウェアビジネス学科講師である氏は、ソフトウェアビジネスソフトウェア会社の国際化およびデジタル・アントレプレナーシップを専門としている。

日本におけるフィンランドのソフトウェア会社の活動に関する研究を10年以上行っており、その研究の焦点は、芬日市場における文化的側面、日本市場の参入障壁や成功要因および芬日企業の関係構築などである。

アルト オジャラ 氏
Dr. Arto Ojala



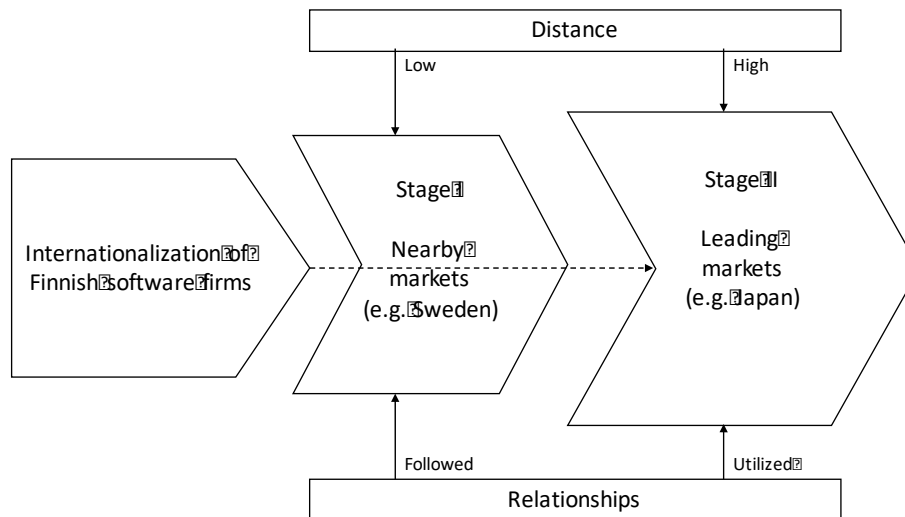
彼の論文はInformation Systems Journal, Journal of Systems and Software, IEEE Software, IT Professional, International Business Review等で発表されている。

【講演要旨】

日本市場は海外ソフトウェア会社に十分な市場機会を提供しているが、その言語と商習慣を含めた文化の違いは、日本市場での外国企業の不確実性と関連コストを増大させている。

しかしながら、日本市場向けの適切な実地を行うことにより、海外ソフトウェア会社が、ビジネスで成功する助けとなるような競争優位を得ることは可能である。

本分科会講演では、日本におけるフィンランドのソフトウェア会社のオペレーションに焦点をあて、彼らがどのように市場の不確実を克服し、そして日本のパートナーと顧客との間で関係を育成することが可能であったかについて紹介する。



2017. 10. 13

10月例会

日時 平成二十九年十月十三日(金)

テーマ 日本流イノベーション

・日本企業の特徴を活かす成功方程式

講師 ワークハピネス代表取締役社長

吉村 慎吾 氏



吉村 慎吾 氏

■ 略 歴

早稲田大学政治経済学部卒。世界4大監査法人の一つであるプライスウォーターハウスクーパースにて公認会計士として活躍し、世界最年少マネジャー記録を更新、世界初の日米同時株式公開を手掛ける。途中、日本証券業協会店頭登録審査部(現・JASDAQ上場審査部) 上場審査官として多くの企業の上場審査も行なう。1999年12月、企業変革支援アウトソーサーである株式会社エスプールを設立。100年の伝統ある老舗

ホテルの20年続いた連続赤字を1年でV字回復、水耕栽培農業を活用した障がい者雇用支援サービスの立ち上げなど、数々のイノベーションを起こし、2006年2月に株式上場へと導く。



イノベーターズ 革新的価値創造者たち - イノベーターが生まれる組織の法則 ,ダイヤモンド社 (2014/7/26)



日本流イノベーション - 日本企業の特徴を活かす成功方程式 ,ダイヤモンド社 (2017/1/20)

11月例会

日時 平成二十九年十一月二十二日(水)

テーマ フィンランドのデジタルイノベーションへの新たな挑戦

・デジタルヘルスケアのケース

Finland's New Initiative in Digital Innovation
- A Case of Digital-healthcare

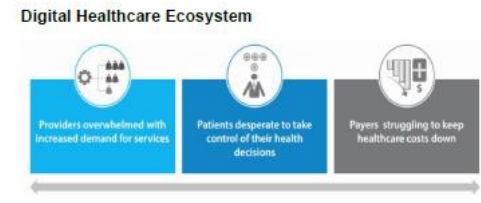
講師 フィンランド ユヴァスキュラ大学 情報技術学部長

ペッカ・ナイタマキ氏

■ 略 歴

1973年ユヴァスキュラ大学修士、1978年ユヴァスキュラ大学博士(数学)。1988年よりユヴァスキュラ大学教授。1993-2000年同副学長、2000-2009年同アゴラセンター長、2010年より、同情報学部長。フィンランド イノベーション諮問委員、欧州社会数理学会会長等を歴任

ペッカ・ナイタマキ氏
Prof. Pekka Neittaanmaki

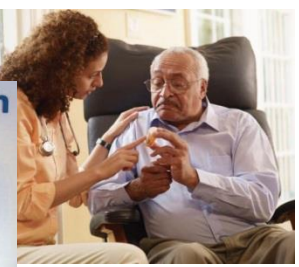


Read article: <https://www.infosys.com/digital/white-papers/Documents/digital-healthcare-ecosystem.pdf>

Why the Healthcare Ecosystem Matters



Read article: <http://www.dtcorsocieties.com/why-the-healthcare-ecosystem-matters/>



DIGITAL HEALTHCARE PLATFORM



- Healthcare Ecosystem
- Healthcare Platforms
- Digital Healthcare Technologies
- Healthcare Data Security
- Healthcare Trends and Predictions
- Healthcare in Finland

Pekka Neittaanmäki
Dean of the Faculty of Information Technology
Professor in Dept. of Mathematical Information Technology

Master's student:
Elmira Galeieva



UNIVERSITY OF JYVÄSKYLÄ
DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE AND INFORMATION SYSTEMS

2016

日時 平成二十九年十二月十四日(木)

テーマ デジタル・エコノミーとGDP
・OECDの問題提起

講師 日本銀行調査統計局 経済統計課 統計総務グループ 企画役

守屋邦子氏

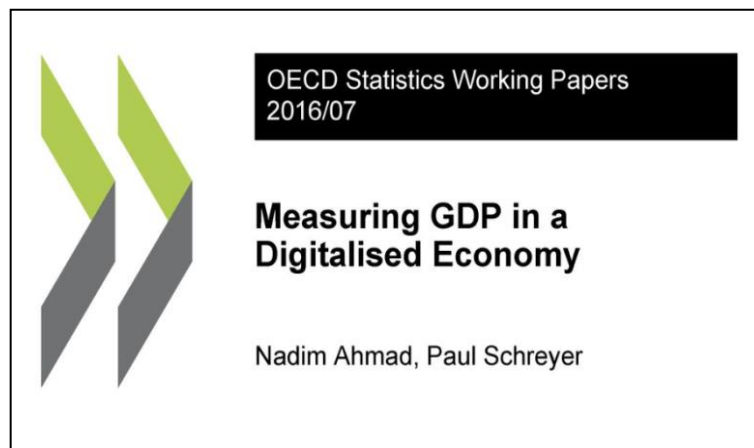
■ 守屋邦子氏 略歴

1990年青山学院大学国際政治経済学部を卒業し、日本銀行に入行。

物価統計の作成に長く従事。OECD・Eurostatの共同プロジェクトであるサービス分野の生産者価格指数(PPI)に関するマニュアル作成に参画(2005年に「Methodological Guide for Developing Producer Price Indices for Services」として公表)。その後、国際収支統計のほか、マネースtock統計等の金融統計を担当。2014年からは内閣府に出向し、国民経済計算(SNA)の平成23年基準改定作業に参画。SNAの国際基準である2008SNAへの対応等、デフレーターに関する業務を主に担当した。現在は、金融危機以降G20各国が取り組みを続けている統計整備課題(DGI-2(Data Gap Initiative Phase II))等、国内外の統計に関する各種業務に取り組んでいる。



季刊国民経済計算 平成29年度第1号 NO.162
メディアランド株式会社 (2017/7/14)



Ahmad, N. and P. Schreyer (2016) "Measuring GDP in a Digitalised Economy", OECD Statistics Working Papers, 2016/07, OECD Publishing, Paris.